

# デジタルもぐら3311 訓練・試験放送

## 本体操作で防災訓練・試験放送を行う

「デジタルもぐら」を利用して、避難訓練及び試験放送をすることができます。

地震の揺れが到着するまでのわずかな時間を有効に活用し、少しでも災害を減らすためには、デジタルもぐらを利用して、継続的な避難訓練を実施することが重要です。

また、試験放送をすることで、デジタルもぐらと放送設備との連動確認や、その他外部機器（自動ドア・エレベーター）などとの連動確認を行うことができます。

避難訓練・試験放送を実施する場合には、以下(1)～(4)の中から適切な方法で実施して下さい。  
いずれの場合も、外部接続機器が起動しますのでご注意ください。

### (1)緊急地震速報の避難訓練及び試験放送

1. 「地震訓練」ボタンを2秒以上押すと、上部にあるLEDが点滅します。
2. 一旦手を離し、再度「地震訓練」ボタンを押すと、制御接点をONにすると共に、訓練放送を開始します。  
(音声出力:L.O、モニタ 接点出力:B.P、CTL)
3. 停止させる時はキャンセルボタンを押します。 ※設定スイッチ④がONで1分、OFFは3分後タイマー停止します。

### (2)EWS(避難指示/津波警報)の避難訓練及び試験放送

1. 「警報訓練」ボタンを2秒以上押すと、上部にあるLEDが点滅します。
2. 一旦手を離し、再度「警報訓練」ボタンを押すと、制御接点をONにすると共に、訓練放送を開始します。  
(音声出力:L.O、モニタ 接点出力:A.P、CTL)
3. 停止させる時はキャンセルボタンを押します。 ※設定スイッチ⑥がOFFの場合は、3分後タイマー停止します。

### (3)メロディ試験による試験放送

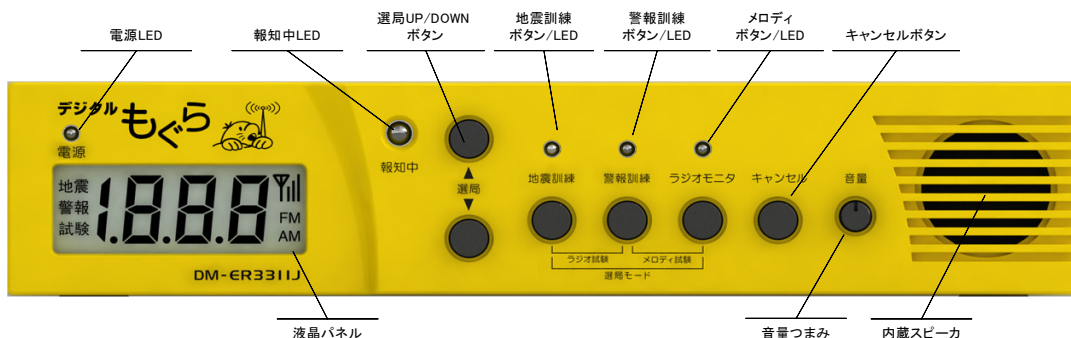
デジタルもぐらと放送設備との連動確認や、その他外部機器（自動ドア・エレベーター）などとの連動確認を行う時、通常の訓練用の放送ではなく、メロディを利用して試験放送を実施します。

1. 「警報訓練」「ラジオモニタ」を同時に2秒以上押すと、それぞれのボタン上部にあるLEDが点滅します。
2. 一旦手を離し、再度「警報訓練」「ラジオモニタ」ボタンを同時に押すと、制御接点をONにすると共に、メロディ試験を開始します。(音声出力:L.O、モニタ 接点出力: CTL)
3. 停止させる時はキャンセルボタンを押します。 ※自動終了タイマー無し  
※サンプルメロディ音は弊社のオリジナルメロディ音です。

### (4)ラジオ試験による試験放送

緊急地震速報のメッセージを、内蔵音源ではなくラジオ音声で利用する場合には、必ずラジオ試験を実施して実際の音声レベルを調整して下さい。

1. 「地震訓練」「警報訓練」を同時に2秒以上押すと、それぞれのボタン上部にあるLEDが点滅します。
2. 一旦手を離し、再度「地震訓練」「警報訓練」ボタンを同時に押すと、制御接点をONにすると共に、ラジオ試験を開始します。(音声出力:L.O、モニタ 接点出力: CTL)
3. 停止させる時はキャンセルボタンを押します。 ※自動終了タイマー無し



総発売元

緊急地震速報のリーディングカンパニー  
株式会社 Jコーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833 〒631-0011 奈良県奈良市押熊町557-7-4F

2版 210623